

平成31年度水道事業の予算基本方針

平成31年度は、滝沢市新水道事業ビジョンにおける「信頼され続ける水道」の基本理念のもと、後期の水道事業中期経営計画を策定し事業を推進してまいります。

○安心・安全 安心して飲むことができる安全な水道について

豊富で良質な岩手山由来の地下水を未来にわたって市民に提供できるように、水源保全用地の取得等による水源地の適正保全を継続し、取水能力の維持を図るとともに、あらたに取得した大湧口水源の有効利用を推進します。

良好な水源水質を維持し市民へ高品質の水を提供するため、管路のみならず小規模貯水槽や一般家庭の水質管理の徹底を行ってまいります。

事故等による断水範囲の縮小化のため、管網ループ化計画に基づき整備を推進します。

【水源の確保と保全】

水源井戸の適正管理
大湧口水源の早期有効利用
水源保全用地の取得、適正保全

【安全な水の供給】

水質管理の徹底、水安全計画の継続運用・改定
アンケート調査結果を踏まえた水質不満足度の分析と改善対応

【給水サービスの向上】

小規模貯水槽管理者への巡回指導
管網ループ化計画に基づく整備の推進
仕切弁増設等による小ブロック化・断水範囲の縮小

○安定・強靱 安定した給水を実現する強靱な水道について

水道施設の長寿命化とアセットマネジメントに基づく適正更新、耐震化等による災害時の供給能力の確保、漏水対策の推進により、水道施設の適正化を図ります。

水道施設の効率的な運転と機能保持を図り、常に安全な水質と安定供給を確保するため、従事する職員の育成と効果的な管理委託の推進を図ります。

また、長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に管理運営し、持続可能な水道の実現を図ります。

【水道施設の適正化】

アセットマネジメントの深化による水道施設の健全性確保と修繕・更新の最適化によるコスト縮減
漏水対策の推進

【災害時応急対策の推進】

一本木配水池系と柳沢高区配水池系配水連絡管整備
隣接市町との連絡管整備及び応援給水合同訓練の実施

【給水区域の拡大】

大湧口水源の早期有効利用による水融通機能の強化
柳沢開拓専用水道組合との情報交換継続

○環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道について

前期経営計画の期間においては、人口・水需要・給水収益などの実績は推計値を上回っており、人口減少等による経営悪化のスピードは予想より遅いことが伺えます。しかし、アセットマネジメントの結果によると、今後40年間の投資必要額を平準化した支出は、これまでの建設改良費の支出を大きく上回るが見込まれます。

このことから、後期経営計画においては、業務の効率化などさらなるコストの縮減による支出の抑制を実施したうえで、世代間の負担の公平性を踏まえた上での規範性をもった起債財源と料金収入による資産維持費の確保を図り、健全な水道経営をすすめていきます。

また、水道事業のアンケート調査結果から、水質も含めた水道事業に対する満足度・理解度は着実に向上してきていることから、引き続き広報活動を推進し住民にわかりやすく親しみのもてる水道をめざしていきます。

【顧客サービスの向上】

子供向け水道事業啓発活動・双方向コミュニケーションの推進

【財政健全化】

適正な水道料金設定
企業債借入額と内部留保資金割合の規範性維持
水道料金未納対策強化と口座振替報奨金の創設

【人財育成と組織力の強化】

外部委託と正職員・再任用職員と会計年度任用職員の最適化、広域連携の推進によるコスト縮減と事務遂行レベルの確保

【官民連携・広域連携の推進】

料金徴収業務などの委託業務や各システム導入に係る広域連携共同化の推進
盛岡広域ブロック検討会報告結果に基づく取組

平成31年度の主な事業

1 安心・安全

安心して飲むことのできる安全な水道

○大湧口水源関連施設整備

大湧口水源の約2000 m³/日を岩手山配水池もしくは柳沢高区配水池に導水するため、及び緊急時に岩手山配水池から大湧口水源に送水するための、導送水連絡管整備に係る設計及び東北防衛局との補助金協議を進めます。

10,000千円

○水源保全施策の実施

水道水源保全計画及び水道水源保護条例に基づき事業を実施します。

具体的には、

- ・合併処理浄化槽補助金交付 5人槽・7人槽・10人槽各1件
- ・水道水源用地取得（不動産鑑定業務委託）、除草・間伐

10,294千円

○水質管理の徹底

水質検査計画に基づき水質検査を実施し、安全でおいしい水の供給を図るとともに、引き続き水源監視体制の徹底を図ります。

- ・定期水質検査、臨時水質検査

11,250千円

○貯水槽水道の管理指導

10 m³未満の受水槽所有者への受水槽適正管理の指導を行い、末端までの水質管理の徹底を図ります。

- ・受水槽巡回指導委託

500千円

○断水範囲の縮小

事故時の断水件数が100件以内におさまることを目標に、管網のループ化計画に基づく管路・仕切弁の整備を行います。

- ・仕切弁設置

4か所

2,000千円

○水道施設改良更新事業

以下の老朽水道施設の更新を行います。

- ・非常用自家発電設備整備（発電棟含む）は平成33年度に年度間調整
- ・電気・計測機器更新一式

50,000千円

○配水管整備事業

経年管のうち断水を優先的に防止すべき幹線配水管路や重要給水拠点までの配水管路、及び非常時のバックアップ機能形成のための連絡配水管整備を進めます。

- ・主要幹線管路の耐震化 200m
- ・連絡管整備（一本木系→柳沢高区系）

30,000千円

<管路耐震化率> ※導・送水管を除く

年 度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画値 (%)	23.0	24.0	26.0	27.0
実績値 (%)	23.7	24.8	26.0	27.0

<管路耐震化率> ※導・送・配水管すべて含む

年 度		28年度	29年度	30年度	31年度
全線 (%)	計画値	22.8	23.7	24.6	32.0
	実績値	22.9	24.0	31.1	32.0
幹線%	計画値	18.0	18.2	18.4	26.5
	実績値	20.3	21.6	26.0	26.5

※ 幹線はφ200以上の全ての水道管とする。



○経年管更新事業

アセットマネジメントに基づき優先順位の高い路線から順次更新を進めます。

- ・老朽管布設替工事 3, 0 0 0 m
- ・国県道・軌道横断管更新 2 か所
- ・老朽消火栓更新 4 基

4 0 2, 0 0 0 千円

<経年管更新率>

年 度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
計画値 (%)	0.5	1.0	1.5	1.5
実績値 (%)	0.5	1.5	1.5	1.5

○漏水対策事業（重点事業）

- 流量計室整備（配水ブロック化） 4 基
- 配水ブロック形成仕切弁設置（泥吐弁含む） 5 か所
- 漏水調査委託 3 0 0 k m
- 漏水発見後の迅速な修理 発見個所数

1 9, 0 0 0 千円

<有効率>

年 度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
計画値 (%)	90.0	91.0	92.0	93.0
実績値 (%)	90.6	91.3	92.0	93.0



○連絡管整備事業

盛岡市及び雫石町との連絡管整備実施協議

○顧客サービスの向上

5か年継続契約の3年目であり、ワンストップサービスや迅速な現場対応など、顧客サービスの向上とコスト縮減が図られています。

・料金徴収業務委託	<u>79,715千円</u>
・水道広報誌の発行（年2回）、市広報誌水道特集記事掲載	<u>900千円</u>
・子供向け水道事業啓発活動	<u>100千円</u>
・双方向コミュニケーションのイベント実施	<u>100千円</u>



○財政健全化

継続的にコスト縮減を行うとともに、起債残高や内部留保資金規模の規範性を確保しつつ、将来を見据えた財政計画に基づく適正な水道料金算定のもと、市民にわかりやすい説明を行っていきます。

受託者と連携し、水道料金未納者に対する迅速正確な対応に努めるほか、口座振替報奨金制度を創設し、口座振替率の向上による収納率向上を図ります。

・口座振替報奨金（新規）制度	<u>540千円</u>
・コスト縮減の強化（人件費、動力費）	
①再任用職員と非常勤嘱託職員の適正配置 再任用職員等の効率的配置によるコスト縮減	<u>△2,000千円</u>
②動力費の縮減 電力契約の単価等見直しによる動力コスト縮減	<u>△500千円</u>
③施設費の縮減 地下水比率拡大による薬品費及び汚泥処理費の縮減	<u>△6,000千円</u>

④工事コストの縮減

早期発注や工事発注方法の効率化、他工事との工期調整等による工事費縮減

△2,000千円

<コスト縮減額>

単位 千円

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
人件費	△655	△32,637	△1,432	△2,000
動力費	△667	0	0	△500
施設費	△3,000	△5,500	△6,000	△6,000
工事費	△20,200	△3,100	△1,400	△2,000

○人財育成と組織力の強化

嘱託職員の適正配置と水道経験者の再任用職員確保により、定期人事異動による事務遂行レベルの低下を防止するとともに、人財育成・技術の継承を図ります。引き続き、下水道事業職員との兼務による経営技術の組織力強化を図ります。

職員（人）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
正職員	19	15 (5)	16 (5)	15 (4)
再任用職員	0	0.5	0	1
非常勤職員	2 (1)	3 (1)	3 (1)	3
計	21	18.5	19	19

※正職員の（）内は4条職員、非常勤職員の（）内は臨時職員

経験年数	H29年度	H30年度	H31年度	H34年度 (目標年度)
平均年齢	44.5	41.0	41.0	41.0
経験年数	6.6	7.0	7.0	7.0
資格者数	7	8	8	10

※資格者数は水道ガイドラインに定義された資格者の数とする。

○官民連携・広域連携の推進

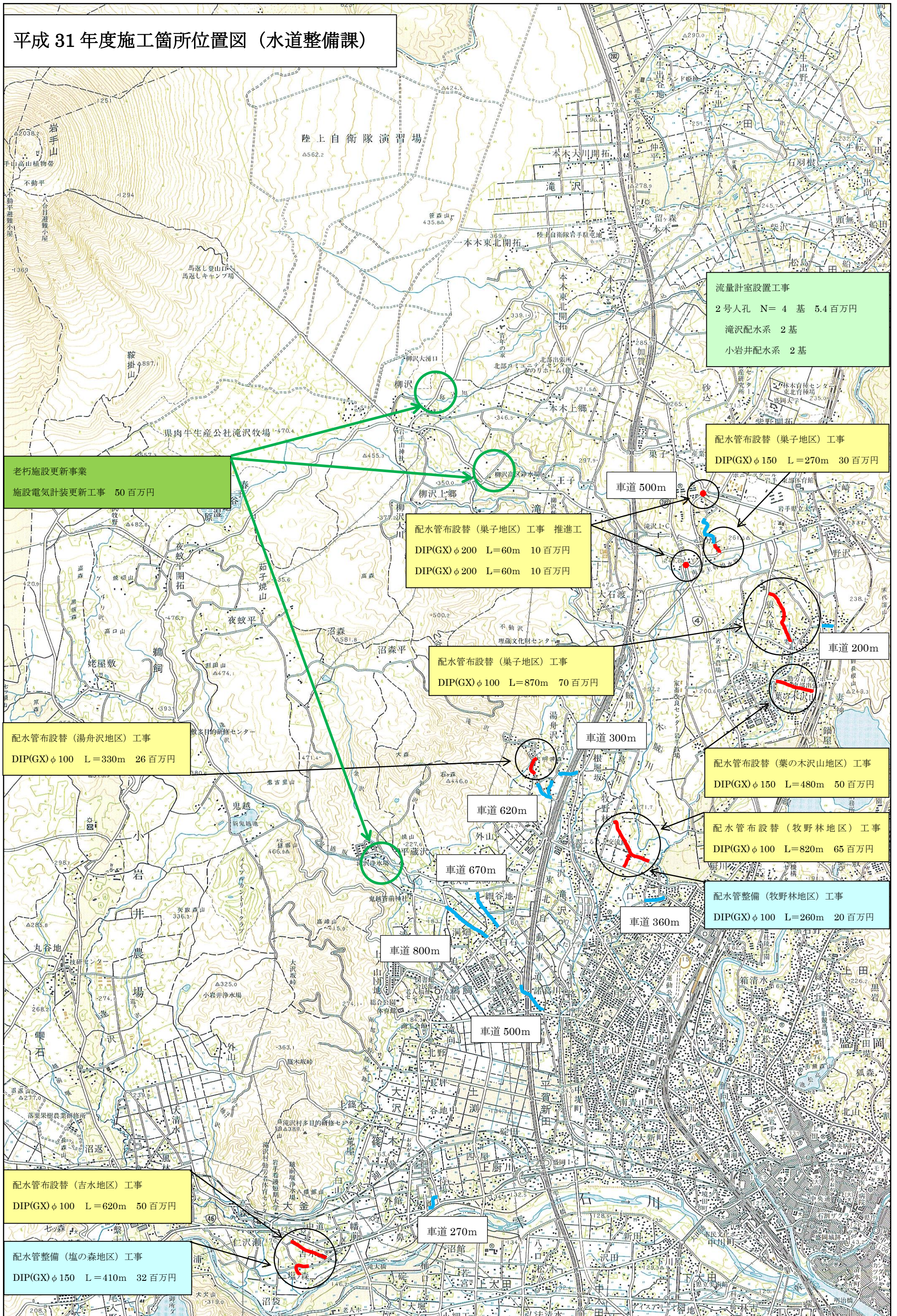
盛岡広域ブロック検討会での検討結果に基づき、引き続き共同委託化などの事業の効率化について、引き続き検討・協議を進めていくものとする。

○収支概算額

単位：百万円

区 分		平成 31 年度 予算方針A	平成 30 年度 12 月補正 B	比較増減 A - B
収益的収入及び支出 (消費税抜)	① 水道事業収益	1,028	1,028	0
	うち給水収益	844	840	4
	うち長期前受金戻入益	88	90	△ 2
	② 水道事業費用	893	923	△ 30
	うち減価償却費	391	390	1
	うち支払利息	34	35	△ 1
③ 差引 (①-②)	135	105	30	
資本的収入及び支出 (消費税込)	④ 資本的収入	73	107	△ 34
	うち企業債	50	90	△ 40
	⑤ 資本的支出	617	637	△ 20
	うち建設改良費	487	515	△ 28
	うち企業債元金償還	130	122	8
⑥ 資本的収支不足額 (⑤-④)	544	530	14	
企業債残高		2,186	2,267	△ 81
流動資産－流動負債 (企業債除く)		723	796	△ 73

平成 31 年度施工箇所位置図 (水道整備課)



老朽施設更新事業
施設電気計装更新工事 50 百万円

流量計室設置工事
2号人孔 N= 4 基 5.4 百万円
滝沢配水系 2 基
小岩井配水系 2 基

配水管布設替 (菓子地区) 工事
DIP(GX)φ 150 L=270m 30 百万円

配水管布設替 (菓子地区) 工事 推進工
DIP(GX)φ 200 L=60m 10 百万円
DIP(GX)φ 200 L=60m 10 百万円

配水管布設替 (菓子地区) 工事
DIP(GX)φ 100 L=870m 70 百万円

配水管布設替 (湯舟沢地区) 工事
DIP(GX)φ 100 L=330m 26 百万円

配水管布設替 (葉の木沢山地区) 工事
DIP(GX)φ 150 L=480m 50 百万円

配水管布設替 (牧野林地区) 工事
DIP(GX)φ 100 L=820m 65 百万円

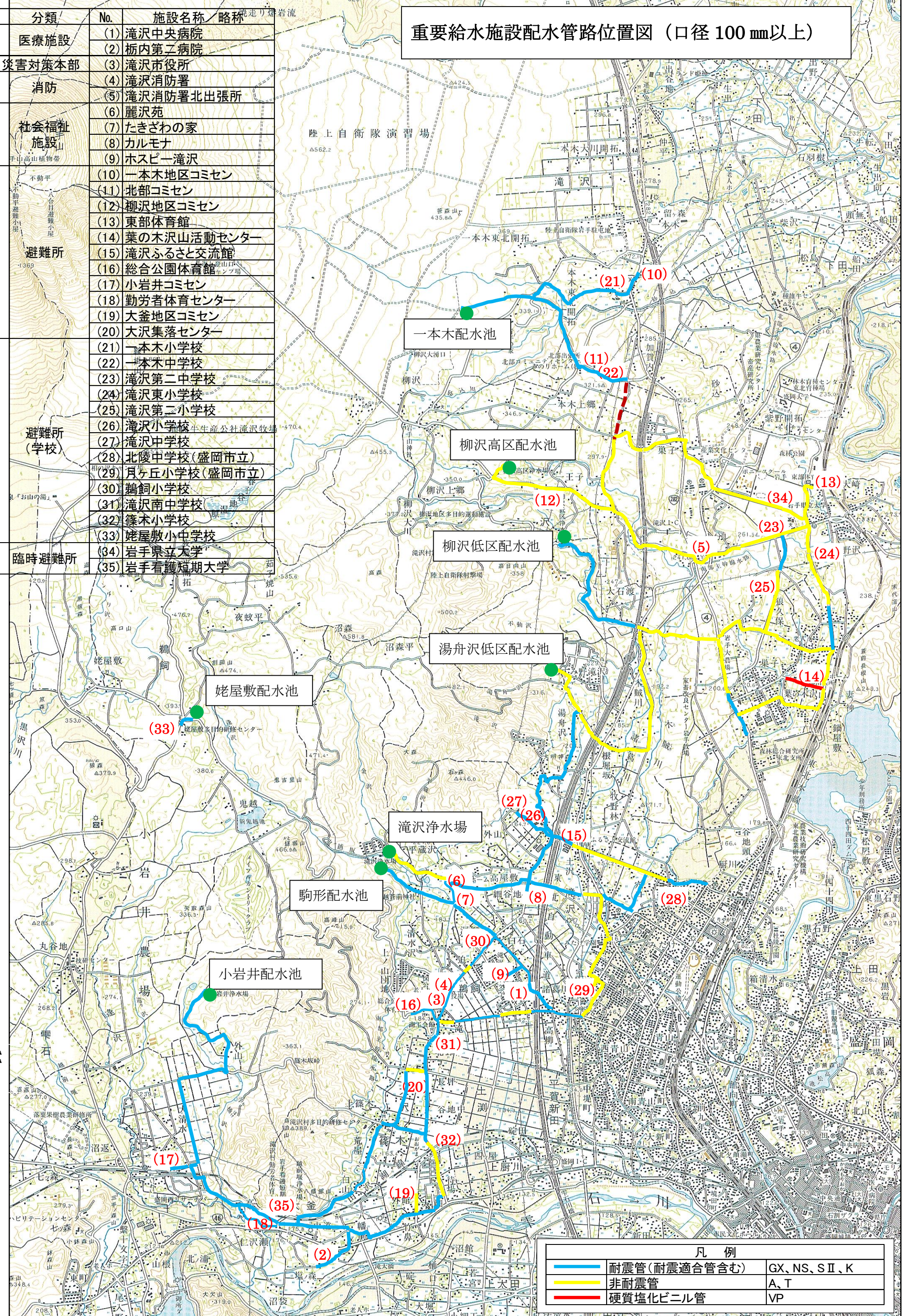
配水管整備 (牧野林地区) 工事
DIP(GX)φ 100 L=260m 20 百万円

配水管布設替 (吉水地区) 工事
DIP(GX)φ 100 L=620m 50 百万円

配水管整備 (塩の森地区) 工事
DIP(GX)φ 150 L=410m 32 百万円

重要給水施設配水管路位置図 (口径 100 mm以上)

分類	No.	施設名称	略称
医療施設	(1)	滝沢中央病院	
	(2)	栃内第二病院	
災害対策本部	(3)	滝沢市役所	
	(4)	滝沢消防署	
消防	(5)	滝沢消防署北出張所	
	(6)	麗沢苑	
社会福祉施設	(7)	たきざわの家	
	(8)	カルモナ	
	(9)	ホスピー滝沢	
避難所	(10)	一本木地区コミセン	
	(11)	北部コミセン	
	(12)	柳沢地区コミセン	
	(13)	東部体育館	
	(14)	葉の木沢山活動センター	
	(15)	滝沢ふるさと交流館	
	(16)	総合公園体育館	
	(17)	小岩井コミセン	
	(18)	勤労者体育センター	
	(19)	大釜地区コミセン	
	(20)	大沢集落センター	
	避難所(学校)	(21)	一本木小学校
(22)		一本木中学校	
(23)		滝沢第二中学校	
(24)		滝沢東小学校	
(25)		滝沢第二小学校	
(26)		滝沢小学校	
(27)		滝沢中学校	
(28)		北陵中学校(盛岡市立)	
(29)		月ヶ丘小学校(盛岡市立)	
(30)		鶺鴒小学校	
(31)		滝沢南中学校	
(32)		篠木小学校	
臨時避難所		(33)	姥屋敷小中学校
	(34)	岩手県立大学	
	(35)	岩手看護短期大学	



凡例	
—	耐震管(耐震適合管含む) GX、NS、S II、K
—	非耐震管 A、T
—	硬質塩化ビニル管 VP